

熊田ちづ子

区政報告

2001年10月
NO. 35

一発行
日本共産党港区議員団
TEL: 3578-2111(2945)
連絡先: 港区東麻布
2-3-7
TEL: 3583-1402

無料生活相談
毎月十一日 夜六時
飯倉福祉会館を予定しています
ご連絡をください

みなさんの地道な運動と党区議団の質問が実る

十月一日から介護保険の保険料・利用料の軽減を実施

安心できる介護保険制度に向け、引き続き運動を

港区は、九月五日の区議会保健福祉常任委員会で、区独自の介護保険料・利用料の軽減策を十月から実施すると報告しました。

今回の軽減策で対象になる方は、第一号保険者（六十五才以上）の方で所得段階が第二段階の人（世帯全員の区民税が非課税）で、次の要件を満たしている方です。

①世帯の収入額が生活保護基準額の概ね一・一五倍

一人世帯 約一三万円
二人世帯 約一七十万円
(年間収入)

②預金額が三百万円以下

③課税されている人に扶養されていないこと

④介護保険料を滞納していない人で減免を受けるには申請が必要です。

保険料は月額二千二百九十円を軽減し一千五百二十円と第一段階と同額の保険料になります。また、利用料は一ヶ月当たり一万五千円（第一段階の負担上限額）を超えて、二万四千六百円（第二段階の負担上限額）以下の負担分について二分の一の助成（最高額四千八百円）となります。

これまでどおり二万四千六百円を越えた分は、全額高額介護サービス費として支給されます。

党区議員団（七名）は、代表質問など機会ある毎に区独自の減免制度実施を含めた介護保険問題を取り上げてきました。地域からは四団体から「減免制度を求める請願」（継続扱い中）が提出されるなど運動が広がりました。

（4）都市型水害対策の強化を促進
（5）固定資産税・相続税の大幅軽減を

党区議団は保険料・利用料の「減免条例」提案を準備し、各会派に協力を要請。そのような中、二千一年度予算特別委員会で全会派一致で「保険料・利用料の軽減実施」の要望書を原田区長に提出。区長は「十月実施に向け検討」を表明していたのです。

「減免は実施しない」と言い続けた区長の態度を変えさせたのは区民のみなさんの運動の成果です。しかし、今回の軽減策は対象者は第二段階のごく一部の人のみで、区の推計でも六百人程度にすぎません。予算規模も八百万円程度です。

党区議団は引き続き、生活実態や介護実態に見合う軽減策の実現にむけ、頑張ります。

| 所得段階 | 該当者 | 月額保険料 |
|------|--|--------|
| 1 | 生活保護を受けている人 世帯全員の区民税が非課税で本人が老齢福祉年金受給者 | 1,520円 |
| 2 | 世帯全員が区民税が非課税 | 2,290円 |
| 3 | 世帯員の中に区民税が課税されている人がいるが、本人の区民税が非課税 | 3,050円 |
| 4 | 本人の区民税が課税されている人で、合計所得金額が250万円未満 | 3,810円 |
| 5 | 本人の区民税が課税されている人で、合計所得金額が250万円以上 | 4,570円 |

介護保険 中小業への緊急融資など

第三回定期区議会・いのくま区議が代表質問

第三回定期区議会が九月十一日から二十一日の予定で開かれました。

十三日の本会議で、いのくま区議が党区議団を代表して、区長、教育長、議長に質問しました。主な質問項目は次の通りです。

①介護保険の保険料、利用料の減免制度の充実を、特養ホームの建設

促進

②都バス路線の復活を

③若い世代が住める低廉な家賃住宅建設を

⑨芝公園の破壊を許さないためにもどせ
⑩国際興業用地（芝公園内）と浜二用地（区有地）の交換は区民の声を聞け
⑪氷川小跡地の特養ホームの入札について

（4）都市型水害対策の強化を

（5）固定資産税・相続税の大幅軽減を

バス路線復活、区民の足確保にむけ庁内検討委員会が発足

共産党区議団が代表質問など機会あるごとに取り上げてきた「バス路線復活にむけて」の第一歩となる庁内検討組織が発足しました。

三月の第一回定例区議会の代表質問で、「全局的な調査チームをつくるよう」に質問しました。区長は「庁内に調査チームを作り、区民の公共施設等への交通手段、区民の交通利用者の実態を把握するよう取り組んで行く」と答弁していました。しかし、半年経つても調査チームが発足しないため、第三回定例区議会の代表質問でも取上げたことに対し、区長は「今月（九月）中に庁内検討会を発足させ、地域交通の実態の分析や地域交通のあり方について検討してまいります。」と答弁したものでした。

長寿を祝う会 千七百余名が集う

九月十四日、メルパルクホールに於て『長寿を祝う会』が開かれ、区内の七十五歳以上の高齢者が集いました。

第一部では区長、社会福祉協議会会长、議長等が挨拶、参加者代表に芝公園保育園の園児からお祝いの言葉と花束が贈呈されました。

第二部では、中国雜技団の曲芸、竜小太郎の舞踏つづいて、各地域の老人会の日頃の成果を生かした出し物が披露されました。

共産党区議団は、長寿を祝う会への参加がしやすいようにと、送迎バスの運行を提案、三年前からバスが運行されるようになり、今年はバスが三台に増え、いつそう参加しやすくなりまし

た。

主な内容は次の通りです。

融資斡旋限度額 五百万円以内

借入負担率 ○・三%

貸付期間 五年以内

申込方法 予約制による受付

申込期間 十月二十二日～十一月三日

十日

【特別委員会】

自治権・地方分権対策特別委員会

「意見、」要望をお寄せください

【常任委員会】

区民文教常任委員会

委員会所属が変わりました
熊田ちづ子の所属は次の通りです。



東麻布イースト通りで九月二八日、二九日の二日間、第二七回「かかし祭り」が行われました。

飯倉小学校の児童によるパレード、地域の女性達による花笠音頭と東京音頭の踊り、カラオケ大会、じょんコンクール」には、二五作品が展出され、どの作品も力作揃。今年の最優秀賞には南麻布ディイサービスセンターの方たちが作った「まつりだ！ワッショイ！かかしみこし」が選ばれました。

今年は、三宅島から港区で避難生活を送られている島民の方が招待され、三一名の方が参加されました。かかし祭りを楽しんだ後、東京タワーに上り、夜景を楽しみました。三宅島の方々の帰島が一日も早く実現しますように。

